

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103-199	高等学校	芸術	書道Ⅱ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書Ⅱ 702	書Ⅱ		

1. 編修の基本方針

知る喜びと腑に落ちる体験を重ねて欲しい

本教科書は、「教育基本法」に示された教育の目標と高等学校学習指導要領に示されている内容に基づき、表現と鑑賞が相互に関連しながら、基礎的で幅広い学習が系統的・段階的に進められるよう、次の点に配慮して編修しました。

1. 基礎・基本的な書に関する知識・技能の定着と、幅広い知識の習得を図る。

姿勢・執筆法に始まり、用具・用材の特徴とその扱い方、漢字の書体の特徴や変遷、仮名の種類や成立、言葉と書の表現との関係など、書道Ⅰの学習では、書の学習の基本となる内容を、『書Ⅰ』『書Ⅰプライマリーブック』の二冊で網羅的に学習してきました。書道Ⅱでは、書道Ⅰで学習したことを土台に、そこから段階的・系統的に各領域の内容を詳しく広く学ぶことで、幅広い知識と技法を身に付け、生涯にわたって書を愛好する心情を育てることを目指しました。

2. 表現することを積極的に楽しむ姿勢を養う。

永い年月を経て現代まで遺る「書の古典や名筆」には、普遍的、恒久的な美しさに加え、斬新さや奇抜さ、独創性にあふれたものが数多くあります。直観的に作品の表面に現れた個性を感じ取るだけでなく、表現者という立場でそれらの古典や名筆を見つめ、表現そのものを、時代、風土などの背景の面からも分析することで、論理的な思考の能力を高めることができます。また、そのような経験を通して、芸術を創造的に味わう力を養うことができます。

3. 芸術の学習をとおして、思考力・判断力・表現力を養う。

芸術は、表現・鑑賞いずれの場合においても、思考し、表現する活動が主体となるため、常に意識を高める工夫をする必要があります。特に鑑賞においては、「考えて 見る」という行為によって古典や名筆の奥深くにまで入り込むことで、表現者目線の鑑賞が身に付き、自身の表現に生かすことが可能となります。

4. 身の回りの文字や書に関心を高め、情報社会を生き抜く力を育成する。

書は言葉を書く芸術です。言葉や文字そのものに関心をもち、漢字や仮名の成立や変遷過程を理解することで、伝達手段としての表現感覚を養うだけでなく、目的、場面などに応じた表現の仕方にまで考えを及ぼすことができます。書の持つ魅力や意義、効果などについて考え、情報社会を生き抜く力が身に付くことを目指しました。

2. 対照表

	特に意を用いた点や特色	該当箇所
目次 書Ⅱプライマリー 漢字の書 仮名の書 漢字の書の創作 仮名の書の創作 漢字仮名交じりの書の作品制作 篆刻と刻字 芸術へのいざない	○幅広い知識と教養を身に付けるために、書道の学習の基盤となる書道Ⅰで学習した知識や技能の確認と、芸術科書道への導入となる教材を示しました。[第1号] ○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うために、限りある資源を素材とした書道の用具・用材を大切に扱うことや、環境に配慮した片付けの方法を学べるように配慮しました。[第4号] ○日本国内の筆、墨、硯、紙を紹介することで、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。[第5号]	p.002-003 p.004-020
私を表現へと導く 書 書へのいざない 私たちは臨書で何を学ぶのか 書の創作に必要なものとは	○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]	p.022-025
漢字の書 篆書 考えて 見る 篆書編 これは絵か？文字か？ 隷書 考えて 見る 隷書編 どの隷書もなぜ等しく隷書なのか？ 草書・行書 考えて 見る 草書・行書編 この字、読める？ 楷書 考えて 見る 楷書編 誰にでもわかる楷書ってすごい 唐が育んだ煌めく個性 中国の模倣から和様の創造へ 伝統の継承と新風の芽生え 明清時代の個性豊かな書 中国文人の世界 中国と日本の篆刻	○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、漢字誕生の国・中国を象徴するような写真や図版を選定しました。[第5号] ○幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、各時代を代表する古典を教材として選定しました。[第1号] ○幅広い知識と教養を身に付けるため、書体の特徴や歴史、能書と呼ばれる人物について深く学習することができる内容を設定しました。[第1号] ○伝統と文化を尊重するために、書と深い関わりのある印の歴史について学習できるように設定した。[第5号] ○作品同士を比較しながら鑑賞し、他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号] ○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、身の回りの書を観察し、その意義について考えられるようにしました。[第3号]	p.026-097
仮名の書 考えて 見る 仮名の書編 演者は仮名で舞台は料紙 古今和歌集の古筆 自然を尊重する心を反映した散らし書き 曲直が表す個性的な線の美	○伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するために、仮名と日本の言葉の関わりを示しました。[第5号] ○幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養うために、姿勢・執筆法などの知識や技能にも配慮しました。[第1号] ○幅広い知識と教養を身に付けるため、平安時代の文学と仮名の関係について、深く学習することができるようにしました。[第1号] ○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]	p.098-107

	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>漢字仮名交じりの書 考えて 見る 漢字仮名交じりの書編 時代を生きる書 さまざまな表現に学ぶ漢字と仮名の調和 響き合う行と余白 自分自身の表現を求めて</p>	<p>○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、漢字と仮名による日本語の表記の歴史を示しました。[第5号] ○自主及び自律の精神を養うために、生徒自らが漢字や仮名の学習を振り返りながら漢字仮名交じりの書の表現に取り組めるような構成としました。[第2号] ○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、主体的に構想し、創意工夫する単元を設定しました。[第2号] ○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]</p>	<p>p.108-115</p>
<p>芸術へのいざない 古典に学ぶとは 私と書の明日</p> <p>資料 書の文化 資料編 発展学習 深めて 知る 漢字と仮名が生んだ書の歴史 近代書道の幕開け 昭和モダニズムの牽引者 現代の書のパイオニア 書に親しんだ文化人</p> <p>中国・日本書道史 関係地・資料参考地図</p>	<p>○幅広い知識と教養を身に付けるために、書道の学習の基盤となる書道Ⅰで学習した知識や技能を示しました。[第1号] ○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う意識が持てるよう、筆墨硯紙の生産地を紹介しました。[第4号] ○臨書について学習することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことができるように配慮しました。[第1号] ○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、主体的に構想し、作品を制作する単元を設定しました。[第2号] ○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画するために、生活の中にある書を示しました。[第3号] ○幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うために、書の古典と伝統的な形式について学べるように配慮しました。[第1号] ○作品同士を比較しながら鑑賞し、他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号] ○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重して国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。[第5号] ○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、書の歴史や地理資料について確認できるように配慮しました。[第5号]</p>	<p>p.116-135</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に示す、「豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養う」ために、以下の点について編修上の工夫をしました。

○表現の学習に特化した「書Ⅱプライマリー」編と鑑賞の学習を充実させる本編

表現の学習を主体とした書道Ⅰ「書Ⅰプライマリーブック」の編集方針を引き継ぎ、書道Ⅱも、教科書の巻頭領域を「書Ⅱプライマリー」編として用意しました。篆書・隸書・草書と仮名の書、漢字仮名交じりの書の基礎・基本を重視する内容です。本編は、書道Ⅰの本冊である「書Ⅰ」同様、幅広くまた深く鑑賞の学習に取り組める充実の内容です。

○書の作品を際立たせるゴシック体フォントの活用

肉筆や拓本で示す書の古典の印象を際立たせるため、タイトルや本文の書体をゴシック体で統一し、すっきりとした紙面を実現しました。

○明るく見やすい紙面レイアウト

判型は「A4」を採用し、古典の図版をゆったりと原寸大で掲載したり、適度な余白を持たせることで、すっきりと明るく見やすい紙面になるように工夫しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103-199	高等学校	芸術	書道Ⅱ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書Ⅱ 702	書Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

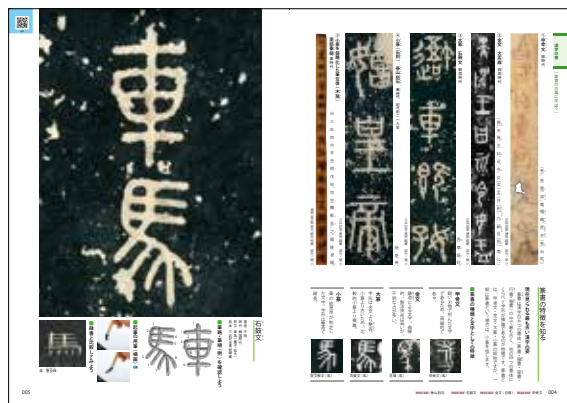
●基本方針

- ①基礎・基本的な書の技能の定着と、幅広い知識の習得を目指します。
- ②個性豊かな表現と、創造的な鑑賞の能力を育成します。
- ③芸術の学習をとおして、思考力・判断力・表現力を養い、コミュニケーション能力を高めます。
- ④身の回りの文字や書に関心を高め、情報社会を生き抜く力を育成します。

●構成と配列

鑑賞に軸をおいた「本編」と、基礎・基本の学習と表現に軸をおいた「プライマリー」編による構成
表現と鑑賞の往還学習が可能となるように、学びの道しるべを活用し、それぞれを構成しました。

書Ⅱプライマリー



p.004-005



p.010-011

書道Ⅰの内容を確認し、書道Ⅱの学習の見通しを立て、書道の学習の基礎・基本を習得する領域「書Ⅱプライマリー」を巻頭に用意しました。QRコードを掲載し、動画で用筆を確認できる項目も付しています。

私を表現へと導く 書



書へのいざない p.022-023



書へのいざない p.024-025

本編では、書とはどのような芸術なのかを理解するための単元「書へのいざない」や、「芸術へのいざない」を展開し、臨書や鑑賞、創作の学習が自身の生活とどのように関連があるのかを考える機会を設けています。

漢字の書



p.026-027



p.064-065



p.080-081



p.082-083

仮名の書



p.098-099



p.104-105

資料編



p.118-119



p.126-127

各書体の表現における特徴について、身近な例に引き寄せて、わかりやすく紹介しています。

また、書1同様に、原寸大図版や拡大図版、折込による長条幅の原寸掲載など、表現と鑑賞の両面から各古典にアプローチできるよう、鮮明で臨場感のある図版を豊富に掲載しています。

仮名の古筆の魅力を伝えることに主眼を置き、それぞれページごとに、古筆を見る視点を明確にしながら学習を展開しています。

巻末には、発展学習として、書の変遷ほか、近現代の書家や文化人の作品を掲載し、書と周辺文化の幅広い学習に配慮しています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当箇所	配当 時数
	A表現	B鑑賞	共通事項	内容の取扱い		
書Ⅱプライマリー 漢字の書 仮名の書 漢字の書の創作 仮名の書の創作 漢字仮名交じりの書の作品制作 篆刻と刻字 芸術へのいざない	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (ウ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(6)	p.004-020	
私を表現へと導く 書 書へのいざない 私たちは臨書で何を学ぶのか 書の創作に必要なものとは	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (ウ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(6)	p.022-025	
漢字の書 篆書 考えて 見る 篆書編 これは絵か？文字か？ 隷書 考えて 見る 隷書編 どの隷書もなぜ等しく隷書なのか？ 草書・行書 考えて 見る 草書・行書編 この字、読める？ 楷書 考えて 見る 楷書編 誰にでもわかる楷書ってすごい	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (ウ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(6)	p.026-061	
唐が育んだ煌めく個性 中国の模倣から和様の創造へ 伝統の継承と新風の芽生え 明清時代の個性豊かな書 中国文人の世界 中国と日本の篆刻	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (ウ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(6)	p.062-097	
仮名の書 考えて 見る 仮名の書編 演者は仮名で舞台は料紙 古今和歌集の古筆 自然を尊重する心を反映した散らし書き 曲直が表す個性的な線の美	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (ウ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.098-107	
漢字仮名交じりの書 考えて 見る 漢字仮名交じりの書編 時代を生きる書 さまざまな表現に学ぶ漢字と仮名の調和 響き合う行と余白 自分自身の表現を求めて	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (ウ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.108-115	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当箇所	配当 時数
	A表現	B鑑賞	共通事項	内容の取扱い		
芸術へのいざない 古典に学ぶとは 私と書の明日	(3)ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (ウ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.116 p.132	
資料 書の文化 資料編 発展学習 深めて 知る 漢字と仮名が生んだ書の歴史 近代書道の幕開け 昭和モダニズムの牽引者 現代の書のパイオニア 書に親しんだ文化人	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (ウ)(エ)	(1)アイ	(1)(5)(6)	p.118-123 p.124-131	
中国・日本書道史 関係地・資料参考地図		(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (ウ)(エ)		(1)(5)(6)	p.134-135	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
103-199	高等学校	芸術	書道Ⅱ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書Ⅱ 702	書Ⅱ		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
118-131	深めて 知る 漢字と仮名が生んだ書の歴史 深めて 知る 近代書道の幕開け 深めて 知る 昭和モダニズムの牽引者 深めて 知る 現代の書のパイオニア 深めて 知る 書に親しんだ文化人		3 内容 B 鑑賞 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えること。 (ア) 作品の価値とその根拠 (イ) 生活や社会における書の美の効用と現代的意義 イ 次の(ア)から(エ)までについて理解を深めること。 (イ) 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化 (ウ) 漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史 (エ) 書の美と時代、風土、筆者などとの関わり	14

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 14)